

2012 年 8 月 10 日

長谷川綾

第 1 回就職レポート

東京外国語大学 2011 年度卒業生の長谷川綾と申します。私は現在、エレクトロニクスをコア事業領域とした、商社とメーカーの機能を併せ持つ企業に勤めています。これから進路を決断しようとしている学生の方々の一助になればという思いで、以下に私の近況報告を致します。まだまだ働き始めてからの日が浅く、たいしたことは書けませんが、少しでも「仕事」というイメージを持つ事の助けとなれば幸いです。

1. 業種について

私が勤めている企業では、エレクトロニクス分野を中心に、商社としての商い・メーカーとしての商い両方を行っています。それぞれ、以下にあげるような機能を持っています。

□ 商社機能

車載関連機器や家電機器等の分野において、部品調達、完成品・組み立て品販売、ジャストインタイムサービスの実施。

□ メーカー機能

メーカーに納入する半導体の実装。

コア事業としては上述の通りとなりますが、世界各国にまたがる拠点ごとに独自の事業も行っています。特に、フィリピンのサリサリストアという雑貨屋さんに関する事業は、会社としての利益は小さいですが、ゼミの研究内容と近い部分があったので、私は注目しています。このような自分の興味分野が思いもよらず転がっていることもありますし、自分で作り出すこともできる会社です。

2. 新人社員研修

新人社員研修としては、以下が用意されています。

□ 入社前研修・フォローアップ研修

入社前研修（3 月末の 3 日間）・・・基本的なビジネスマナーに関する研修

入社後研修（4/1～4/3）・・・役員講話を中心に、会社について学ぶ

フォロー研修（翌年 2 月頃 2 日間）・・・1 年の振り返りをおこない、先輩になるにあたっての心構えを確認する研修

一般的な新人社員研修と比べて非常に短い期間で研修を修了し、入社後 4 日目から配属となり OJT を中心に学んでいきます。

□ EMS 研修

コア事業となる EMS(Electronics Manufacturing Service)について学ぶ。6 月に 1 回、7 月に 1 回の計 2 回実施されます。6 月は部品の名称・役割について講義形式で学び、7 月は実際に当社の国内 EMS 工場へ行って現場を見ながら生産工程について学びます。

□ 海外研修

参加対象はグローバル社員（将来、海外を含めた転勤のある職種）対象。8 月のお盆の時期におこなわれる。1 週間で当社の東南アジア拠点（5ヶ国）をまわります。

□ その他、貿易に関する研修やシステム研修、部品勉強会がおこなわれます。

3. 業務内容

新人社員研修の部分で述べたとおり、私の会社では研修が非常に短いです。そのため、ほとんどの業務は所謂 OJT の要領で配属後教えて頂いています。また、入社後すぐに配属となるので、即戦力となることが多いに求められているように思います。

私が担当しているプロジェクトでは、お客様に製品を納入するため、部材調達・部材の搬送・組み立てを手掛けています。実際の業務では、部材調達・部材の搬送にあたる部分を担当しています。部材調達業務としては、仕入先への発注・納期調整・受入処理などがあり、部材の搬送のための業務としては、出荷処理・INVOICE の連絡などがあります。どちらもシステムに打ち込むというパソコン業務が多い半面、仕入先・納入先とのやり取りが肝心となることも多い業務です。そのため、自分が新人かどうかは相手にとって関係なく、会社の代表として認識されていることをいつも意識し、失礼のないように心がけています。また、私の作る資料で部材が動き、会社としては何千万というお金の流れになるということが、始めは実感が湧きませんでした。今では額面を見るのが少し楽しみになってきています。

4. 入社後の感想&ゼミ生へ

入社前と入社後で大きなイメージのギャップはありませんでした。ですが、自分の中で「仕事」に対する姿勢は変わったように思います。学生時代に「なぜ働くのか」という質問をされた時に、重要度の高い位置に「自身の成長のため」という回答を挙げていました。仕事を通して様々なことを学んでスキルアップしていきたいと考えていたからです。もちろんこれは今でも誤った考え方とは思っていません。しかし今は、むしろスキルアップし

て仕事の効率化や利益率の向上につなげたいと考えるようになっていきます。一番の原因は、単純に私の能力が仕事に対して不足しているため、十分な成果をあげられていないことだと思います。しかし、そのこと以外にも、仕事に対する意識の面で変化があったと思います。例えば、仕事開始時に自分が0で、仕事終了時に自分が学んで10になっていたとしても、仕事の出来が5では、よい仕事をしたとは言えず、仕事開始時に自分が10で、仕事で学びながら12になったからこそ仕事の出来には10反映できるような状況でなければいけないと、今では思っています。このような責任感は、学生時代にはあまりありませんでした。説明会で「会社が君に何をしてくれるかではなく、君が会社に何をできるか考えろ」と言われると、どことなくその会社に対して醒めていくのを感じていたくらいです。そのため、学生の内から仕事に対する責任感を持って！というのは私自身の経験から考えても難しいと思いますが、それだけ世の会社員は本気で仕事に立ち向かっていて、自分も人生の半分以上をかけることになるということに留意し、就職について考えられるとよいと思います。

私もまだまだ手探り状態ですので、仕事について多くを語れる立場ではありませんが、新人のコメントとして参考になれば幸いです。

以上